

## Archive for 2 月, 2011

### [人と自然科 フローラルアート ただいま卒業式準備中](#)

金曜日, 2 月 25th, 2011

2月28日(月)卒業式まであと数日。人と自然科2年生、フローラルアート専攻生が現在、卒業式に先輩方が胸につけるコサージュと、舞台を装飾するフラワーアレンジの製作に追われています。



有馬高校では卒業式に人と自然科の生徒が作ったコサージュを胸につけ入場します。今年度有馬高校を卒業される先輩は301名。かなりの数ですね。この日はカスミソウを調製し、テーピング・ワイヤリングを行いました。今後ツバキの葉、デンファレの花を束ね、コサージュを仕上げていきます。



また、一方では当日舞台を彩るフラワーアレンジを製作。今まで習得した知識や技術を活かし、カトレアやトルコギキョウ、スターチスなどの花をオアシスにさしていきます。みんな目が真剣。想いをこめて作っていました。



卒業式当日、どのように会場が装飾されるか、皆さん楽しみにしててくださいね。

### [平成 23 年度推薦入学選抜合格発表の様子](#)

金曜日, 2 月 25th, 2011

人と自然科と総合学科の推薦入試合格発表が行われました。



## 人と自然科 2年 フローラルアート 作品紹介

水曜日, 2月 23rd, 2011

人と自然科では、2年生からフローラルアートという学校設定科目を選択できます。この授業では、草花（切花）の栽培実習を行い、草花への興味と知識を高めると同時に、草花を活用したフラワーアレンジメントの技術を取得できます。

専攻生19名が4月より、ワイヤリングやテーピングなど、基礎からフラワーアレンジメント技術を磨いてきましたが、この度1年間の集大成として各自が一つの作品を作り上げました。素晴らしい作品をぜひご覧ください。





1年間でこのような作品を作り上げることができるとは・・・生徒の成長ぶりに驚かされます。

ちなみにこの『フローラルアート』という科目は3年次でも継続して選択でき、さらに高い技術を身につけることができます。

## [人と自然科 地域自然保護 成果発表模造紙展示しています](#)

水曜日, 2月 16th, 2011

本ブログで何度も紹介してきました、人と自然科『地域自然保護』における、有馬富士公園や人と自然の博物館など多くの団体とコラボして進めてきた、ありまふじ公開セミナーに関するお知らせです。

先日作成・発表いたしました、公園での体験プログラム企画に関する模造紙(1月24日ブログ参照)ですが、2月11日(金)より有馬富士公園パークセンター入ってすぐのロビーで展示が開始されました。



公園にお立ち寄りの方、是非ご覧ください。

## [人と自然科 農業クラブ 県第3回理事会・評議員会に出席](#)

水曜日, 2月 16th, 2011

2月8日(火) 雪が積もる県立但馬農業高等学校にて、農業クラブ県第3回理事会・評議員会が開催され、本校からも執行部役員3名が出席しました。



人と自然科のように日本全国の高等学校で農業を学ぶ生徒は全員、『農業クラブ』という組織に所属し、農業クラブ員として活動します。(有馬高校人と自然科は、日本学校農業クラブ連盟 近畿ブロック 兵庫

県連盟に所属しています。)農業クラブの活動内容は、生徒会のように組織を運営するための活動はもちろん、部活動のように、自分たちが日ごろ学習した技術や知識を競い合う、各種競技会に関する活動などの一面もあります。(下の写真は兵庫県連盟旗です)



今回は今年度県連盟事務局を担当している但馬農業高等学校に、所属する県内11校の理事・評議員が集まり、今年度の活動・会計報告、次年度の活動運営方針などを話し合いました。



会では、各校理事から今年度の県連行事に関する反省や県連盟事務局に対する要望など、活発に意見が出され、最後に今年度の事業・会計について承認されました。さらに、来年度事務局を務める、県立山崎高校から、次年度の活動方針についての説明もありました。



そして、会終了後は交流会が行われ、イントロクイズなど、簡単なレクレーションを交えながら、和やかな雰囲気の中、他の農業高校生徒との情報交換などを行うことができました。



農業クラブ活動では、このような行事を通し、指導性や社会性を身につけることを目標としています。そして県内各地の農業高校の生徒とつながりがもてることも大きな魅力の一つです。

## [科学部「共生のひろば」で名誉館長賞](#)

日曜日, 2月 13th, 2011

2月11日、人と自然の博物館で開催された「第6回共生のひろば」に、科学部7名が口頭発表で参加しました。



発表テーマは、「コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画 vol.2～」です。平成 19 年にスタートしてから、先月 16 日に行った川の工事までの内容をまとめて発表しました。



結果、名誉館長賞を受賞することができました。人と自然の博物館名誉館長の河合先生より直々に表彰、サイン入りの本も頂きました。部員、顧問一同、大感激でした。

## 人と自然科 ロープワーク 『男結び』の技術を習得する

日曜日, 2 月 13th, 2011

人と自然科で習得する様々な技術の中で、今回はロープワークについてご紹介します。

1年生が今回農業科学基礎で学んだ結び方は『男結び』という方法。この結び方はブドウの枝を棚に固定したり、生け垣などを製作する際に用いる結び方です。縄を無駄なく使うことができ、見た目もよく、一度結ぶと解けにくいという特徴があります。



方法は、一周回してクロスした縄の片側で円を作り、もう片方の縄をぐるっと回して円の中に入れて結ぶ……さっぱりわかりません。ロープワークだけは実際にやってみないと分かりません。



生徒は最初四苦八苦していましたが、一度できれば『こんなの簡単』とすぐに習得していきます。さらに数日後に実技試験を実施しましたが、各自マイロープを持ち帰り、休憩時間や放課後に友達の手や机の脚など、あらゆる物を使用し、練習していました。



このように人と自然科でのテストは、紙と鉛筆を使った筆記試験だけでなく、実技試験も多く実施され、身につけた技術を評価していきます。



## 2月11日 本日の剣道部です。

日曜日, 2月 13th, 2011

毎回、HP更新が滞ってしまい大変申し訳ありません。

早速、剣道部の近況報告からしていきたいと思います。

以前、面打ちにこだわっているとHPでも書きましたが、今もちろん継続中です。それに加え、連続技の小手面打ちを反復練習しております。

その「面」と「小手面」を、試合の慎重になってしまうような場面で堂々と打てたら、相手にとってこんなに恐ろしいことはないと思います。

確かに、「しかけ技」や「応じ技」・「だまし技」等も打てないと試合では勝てませんが、それに関しては試合の中で自然と身に付くものだと私は考えます。

基本に忠実な打突こそが剣道の芯であり、最強の「しかけ技」ではないでしょうか。



↑↑ 写真は私たちの相棒です。点検を怠ることなく、大切に扱いましょう。頑張った自分も頑張らなかった自分もすべてこの相棒が知っています。

## 第30回近畿地区高等学校空手道選手権大会

金曜日, 2月 4th, 2011

平成23年1月22日(土)～1月23日(日) 滋賀県立体育館



## 結果

女子団体組手競技 ベスト16

1回戦 有馬高校 4勝1敗 膳所高校(滋賀県1位) 勝利☆

2回戦 有馬高校 2勝2敗1分け 関大一高 惜敗☆(取得ポイント差)

以上の結果、皆様の期待に応えることはできず全国選抜大会出場は逃しましたが、次は8月の青森インターハイ出場を目指し新一年生を迎え、部員一同一丸となって頑張っていきます。

応援、誠にありがとうございました。

引き続き、空手道部への応援よろしくお願いたします。



## [人と自然科 ブドウの剪定技術を学ぶ](#)

金曜日, 2月 4th, 2011

4月の芽かきに始まり、摘穂(摘房)、整房、誘引、摘芯、摘粒、ジベレリン処理、袋掛け、灌水、収穫、販売、堆肥投入・・・と人と自然科1年生が1年間をかけて学んできたブドウの栽培ですが、最後の作業となるブドウの剪定を農業科学基礎の授業で行いました。



剪定とは余分な枝をのこぎりやハサミで切り取る作業で、人間でいう散髪のようなものです。剪定方法は地域や農家さん、樹齢によって異なりますが、本校では2芽剪定という方法を実施しています。これは新しく出た芽を2芽残し、3芽目の節で切るという方法です。



生徒は最初、新芽を確認するのに手間取っていましたが、1年間担当してきた自分の区域を慣れた手つきであっという間に剪定していました。ちなみに切り取った剪定枝は来年度の病気や害虫を防ぐために、すべて畑から出します。(害虫の卵や病気の菌が潜んでいる可能性があるからです)



1年間丹精込めて栽培してきたブドウ栽培も、今回で一区切り。また4月に入学してくる後輩たちにバトンタッチします。